

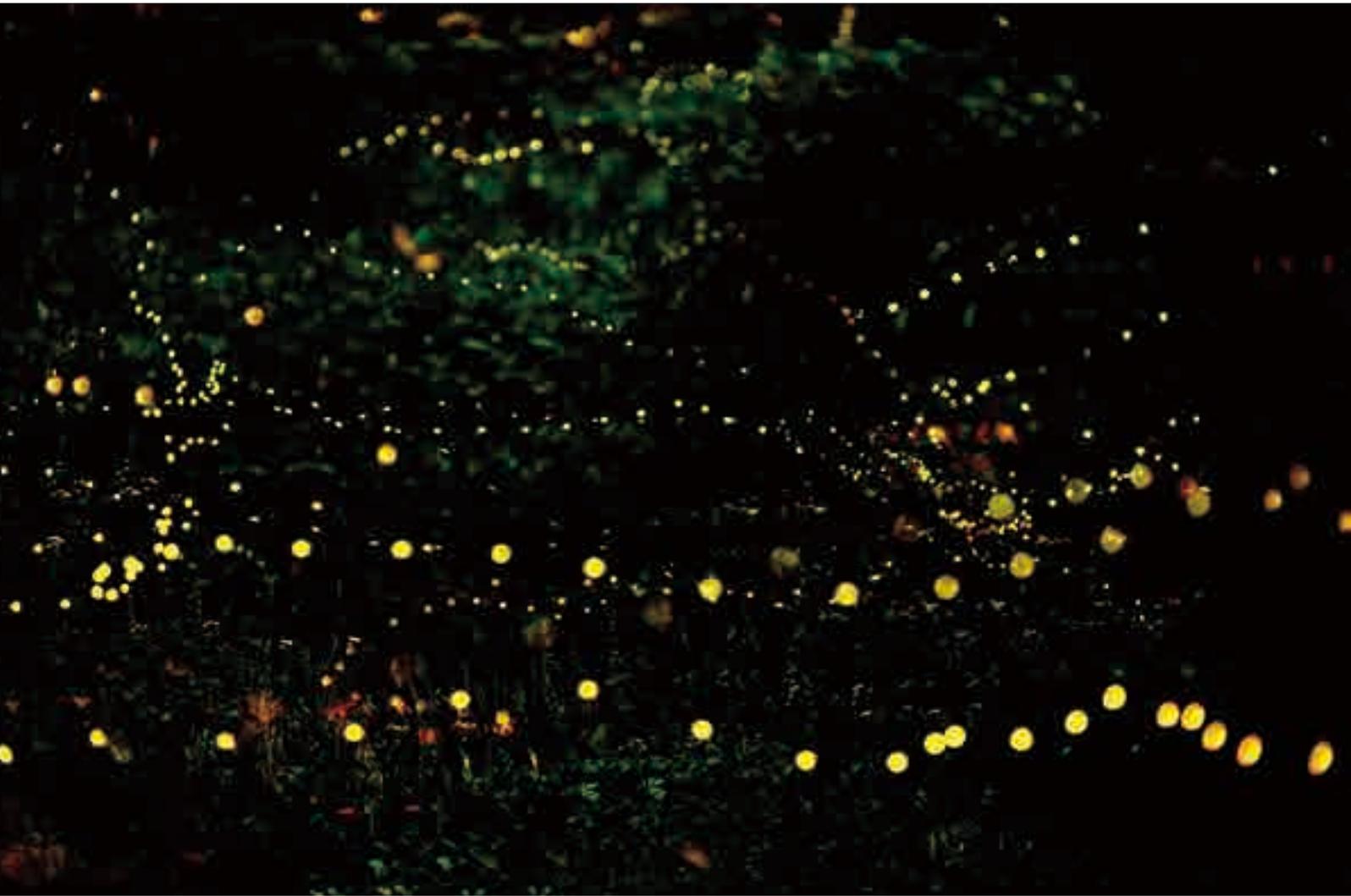
人の力が、地域の力。



CONTENTS ~主な内容~ ●投票に行きましょう!!……2 ●特別警報……3 ●後期高齢者医療制度……4~5 ●まちの話題……6~7 ●すくすく日記……7 ●ひろば・広報ぎゃらりー……8~9 ●リレーエッセイ……9 ●ほん大好き……10 ●Dr. 勝木の調子はいかが?……11 ●いきいき健康だより……12 ●国保のそこが知りたい……13 ●くらしの情報……14~19 ●元気になる献立・7月のカレンダー……20

7

July
2013
No.643



▲撮影：奥田伊津雄さん（福智町在住）

ヒメぼたるの幻想的な乱舞

6月1日から3日までの3日間、剣岳周辺でヒメぼたるの観察会が行われました。「くらての明日を紡ぐ会」ほたる部会が主催したこの観察会には、町内外から多くのほたるファンが参加。乱舞する幻想的なほたるの姿を目に焼き付けていました。ほたる部会が、この地にヒメぼたるの群生個体を確認したのは5年前。その後、本格的な調査に取り組み、一昨年から鑑賞会を行っています。「今後もヒメぼたるの保護のために少しずつ手を入れながら、このゆりかごの森を見守っていきたい。」と、ほたる部会世話人の荒木圭介さん、小山豊彦さん（中山本村）。来年ももっとたくさんのほたるを見られるよう活動を続けていきたい、と話してくれました。（写真は剣岳中腹で撮影されたものです）

日本に生息する主なほたる

ほたるは、コウチュウ目（鞘翅目）・ほたる科に分類される昆虫の総称で、発光することで知られています。日本でほたるといえば、本州以南の日本各地に分布し、5月から6月にかけてう化するゲンジぼたるを指すことが多いのですが、世界にはおよそ2,000種類が生息しているとされます。幼虫時代を水中で過ごす水生ほたるとヒメぼたるのように陸上の湿地で過ごす陸生ほたるがいます。実際には多様な種類があり、国内には約40種類が知られています。

ゲンジぼたる



・オス 15mm
・メス 10mm

ヘイケぼたる



・オス 10mm
・メス 12mm

ヒメぼたる



・オス 7mm
・メス 5mm

※ほたるの影絵はオスの実際の大きさです。